

甲州印伝と郡内織物、県産スギの集成材で作ったソファ



山梨前面 ご当地ソファ

名原 県産材、印伝、郡内織物で

家具製造販売の名原（大月市猿橋町藤崎、名原章朗社長）が、県産木材と甲州印伝、郡内織物を使ったソファを商品化した。山梨の素材を前面に打ち出したご当地ソファとして、宿泊施設などへの売り込みを図る。

同社は、自社ブランドの「NAHARA SOFA（ナハラソファ）」として、富士山をモチーフにしたシリーズを展開している。第2弾として、県産材料にこだわったソファを企画した。

ソファのアーム部分には、

富士北麓地域で伐採された県産スギの集成材を使用。本体

の生地部分には、織物業の武藤（西桂町倉見、武藤英之社長）がソファ用に新たに織り上げた生地を使用した。装飾

部分は、印伝の山本（甲府市朝氣3丁目、山本裕輔社長）が、トンボ柄や花柄などの生地を提供。ウレタンクッションに巻き、アーム部分の円形や四角形にくりぬいた部分にはめ込んだ。

価格は幅60センチの1人掛けが60万円、幅120センチの2人掛けが69万2千円、幅180センチ

の3人掛けが79万4千円（いずれも税別）。装飾部分の甲州印伝の柄や色、ソファ本体の生地部分の色などは選ぶことができる。

名原社長は「郡内織物の風合い、甲州印伝の美しい文様と質感を楽しめる『山梨のソファ』として、宿泊施設や個人向けに売り込みたい」と話している。〈渡辺真紗美〉



HelloKitty

© 2024 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L646737